

## 電気・情報 東京フォーラム2007

電気通信研究所 教授 村岡裕明

東北大学電気・情報東京フォーラム2007が平成19年11月14日(水)に東京国際フォーラム(東京都有楽町)を会場に電気通信研究所主催、電気・情報系共催、電気系同窓会及び文部科学省後援で開催されました。今回のフォーラムは、「先端技術セミナー」、「記念講演会」、「電気情報系80研究室による研究成果展示」、「ディスカッションと懇親の集い」の4つのプログラムにより構成し、電気・情報系の活動を幅広く紹介して、情報通信技術に関するブレークスルー技術と将来展望を中心に意見交換を行うべく開催致しました。

先端技術セミナーでは、ブレークスルー技術として、加藤寧教授、鈴木陽一教授、木下哲男教授によるネットワーク技術、山田博仁教授、戒能俊邦教授、枝松圭一教授、中沢正隆教授による光通信技術、室田淳一教授、小谷光司准教授、榎井昇一教授による半導体技術についてセミナー講演が行われました。引き続き、電気・情報系の全80研究室の研究成果についてポスター展示とデモにより来場者との幅広い交流が行われました。記念講演会では、矢野雅文電気通信研究所長の挨拶に引き続いて、東北大学総長井上明久氏より「世界リーディングユニバーシティに向けての東北大学将来戦略」と題して100周年を迎えた東北大学の今後の進むべき道が示さ



れました。続いて、「産」からNTTドコモ執行役員羽深龍二氏による「ICTがもたらすモバイルユビキタス社会」と題した最新の無線通信技術の動向と展望が講演され、「官」から情報通信研究機構理事松島裕一氏が「フォトニックネットワークの未来 - NICTの研究を中心に -」と題して光通信を中心とする情報通信研究の展望と指針を述べられました。この後、ディスカッションと懇親の集いにて産学官の参加者の活気あふれる意見交換が行われました。

来年は仙台フォーラム2008として仙台を会場に開催し、再来年は再び東京にて東京フォーラム2009として開催予定です。多くの同窓会会員の皆様にご参加いただけますようお願い致します。

## 東北大学創立100周年記念行事報告

電気・通信工学専攻 教授 阿曾弘具

1907年6月22日東北帝国大学が創立された。100周年の創立記念日に全学の祝賀行事として、学章(萩を用いたロゴマーク:2005年制定)、学生歌「青葉もゆる」、スクールカラー「紫」の制定式が行われた。午後は部局毎に祝賀行事が行われ、工学研究科では、記念植樹祭、東北大学創立100周年祝賀記念講演会、祝賀パーティを行った。植樹祭では青葉記念会館前に紅梅・白梅を植樹した。祝賀記念講演会では、特別講演「大学、特に東北大学の未来に向けた100年」(阿部博之元総長)、講演「工学部の変遷-研究の系譜」(阿曾弘具工学部史編纂委員)、講演「東北大学、次の100年への勇気」(瀬名秀明SF機械工学特任教授)が行われた。工学部(従って電気工学科)の創設は1919年で今年88周年にあたる。

百周年記念行事のメインイベントとして、8月25・26日には、100周年記念まつりが片平キャンパスで開催された。大学本部前のステージでのショー、各部局による研究等紹介展示、東北大名物教授のポケットセミナー、サイエンスカフェが両日にわたり行われた。ポケットセミナーでは、電気・情報系からは牧野正三教授、青木孝

文教授が講演され、応物出身の熊倉悟NHKアナウンサー(サイエンスZERO担当)が講演された。工学部の特別展示では電気・情報系からは内田研究室の高精細投射型ディスプレイを展示した。2日間の来場者は市民・同窓生を含め約3万人とのことで、盛会であった。26日夕刻から100周年記念祝賀会(野外パーティ)が片平キャンパスで開催された。来場者は約4千名であった。屋台もでてビール片手に式典、アトラクションに参加した。会場では村上治会長にお会いした。最後には本学同窓生の坂本サトルコンサートがあり、その中に飛び入りで小田和正氏(工学部同窓生)が参加し、盛り上がった。

8月27日午後には、内外からの来賓を迎え、100周年記念式典・懇親会が仙台国際センターで開かれ、西澤潤一先生を含む4人の元総長に感謝状が、田中耕一氏には東北大学100周年記念文化貢献賞が贈られた。9月には、東京と大阪で記念祝賀行事が行われた。

10月6・7日はホームカミングデーとして、同窓生に参加を呼びかけた各種イベントが行われた。その中で全学同窓会総会が開かれ、今までの同窓会を発展させ、「東北大学校友会(仮称)」を設立することが決定された。教職員、同窓生、父兄を含む会で、ふさわしい名称を募集するとのことである。

他にも多くの行事が行われた。詳細は、東北大学ホームページ→創立100周年記念事業で知ることができる。